

# 令和5年度認知症サポーターステップアップ講座 実績報告

## 講座の目的

認知症サポーター養成講座を受講した「認知症サポーター」のうち、**実際のボランティア活動**を希望する方を対象に、認知症の病気の理解と実際の活動をイメージした講義を通じて、**チームオレンジにつながるボランティア**を養成することを目的としています。

主催：認知症地域支援推進員の活動「みかんの会」活動班  
「認知症サポーターステップアップ講座班」

## 講座の内容・講師

講座内容	講師
千葉市の認知症施策について	千葉市地域包括ケア推進課
認知症の人の理解と対応	認知症サポーターステップアップ講座班 千葉市地域包括ケア推進課
コミュニケーションの基本と実践	認知症サポーターステップアップ講座班 千葉市地域包括ケア推進課
チームオレンジとは？ ～受講修了後の活動紹介～	チームオレンジ班
ボランティア登録について	千葉市社会福祉協議会

**講師**は認知症地域支援推進員及び千葉県認知症コーディネーターで構成された“みかんの会”の活動班メンバーが担当しています。

## 受講会場別受講者数

／ 昨年の参加人数から会場・回数を一部変更しました！

会場	市役所	きぼーる	稲毛	若葉	美浜	合計
受講者数	14	13	11	13	17	68
修了者名簿掲載者	13	6	10	10	15	54

## 参加者アンケート



### コミュニケーションの実践：ロールプレイ

- ・色々な考え方、言葉選び等が勉強になりました。
- ・普段は黙って聞いているだけだけど、実際にやってみると難しいと感じます。



### 認知症の方の気持ちを学ぶ

- ・「オストアンデル」…ドキドキ、ざわざわとした不快感…これを繰り返すなら人の中に入るのが億劫になるだろうと感じた。
- ・希望の道の動画「望月さん」、趣味を続けられているのを見て、楽しいことを続けられるほうがいきいきとしているのだと印象に残りました。

## あんしんケアセンターのみなさまへ

修了者の情報は**圏域のあんしんケアセンター**に**情報提供**が可能です。  
修了者の名簿情報が必要な方は**地域包括ケア推進課**まで☎でご連絡ください。

## 千葉市の認知症施策について



これから認知症の方や家族のニーズ・希望を叶えるための活動をする受講者のみなさまに、共生社会の実現を推進するための認知症基本法や千葉市の認知症施策について説明しました。

千葉市の認知症の特設サイト「**千葉市認知症ナビ**」について紹介し、掲載されている情報について説明しました。「認知症ナビ」、「認知症カフェ」、「どこシル伝言板」を知っている方も多くいらっしゃいました。

## 認知症の基礎知識について

**パーソンセンタードケア**について学び、故トム・キッドウッド氏が示した「花の絵」の花びらが重なることで最終的に素敵な花ができあがること、花びらの中心の「愛」は博愛、思いやりと捉えたと説明がありました。受講者の方から「たずさわること」を大切にしたい、相手の「したい！」ことに寄り添いたいという意見や自分の好きな服を着て、好きな物を食べたり、出かけたりして「自分らしさ」を大切にしたいという意見もありました。



## コミュニケーションの基本と実践



非言語的なコミュニケーションの講義を聞き、演習のロールプレイで実践する受講者の方もいらっしゃいました。

事例：もともと体操選手だった A さんが「もうだめですね」とお話しされた際にどのように声掛けをしますか？に対し、表情や視線、声色などを工夫し、「**いろいろお話しを聞かせてくれたら嬉しいです**」とお声掛けするなど、みなさんの工夫した声掛けをきくことができました！



### 事例：「認知症カフェに誘ってみよう」

認知症になってから不安が強い A さんを認知症カフェにお誘いする事例をみんなで考えました。

「大勢の中に入るのは嫌だわ・・・今はもうだめ」と発言する A さんに対し、「**ケーキなどもありますよ**」、「**すぐ帰っても大丈夫ですよ**」と A さんが行きやすい工夫した声掛けが印象的でした！

## チームオレンジとは？～活動終了後の活動紹介～

チームオレンジ班から受講修了後の活動の流れについて説明後、『**認知症サポーターステップアップ講座修了者活動事例集**』に記載されている様々な事例について紹介がありました。開催区によっては、ボランティアとして活動している先輩修了者からもお話があり、大好評でした。

